

- ◆企画名 電子ブック使い方講座
日 程 2018年6月27日(水)
場 所 関西大学総合図書館 ワークショップエリア
参加者数 22名(ピア・サポータ12名、研修生5名、一般学生5名)
目 的

- ・電子ブック使い方講座を通じて、参加者に電子ブックの利点や使い方を周知する。
- ・本企画への参加を契機に、電子ブックに親んでもらい、**enjoy ebook everyday** の利用を促進させる。
- ・電子ブックの利用を通じて本の良さを知ってもらい、関西大学総合図書館の利用率を向上させる。

内 容

総合図書館内のワークショップエリアにて、参加型講座を開催した。
はじめに、図書館事務室の方より、電子ブックの概要について説明があり、その後紀伊國屋書店、丸善雄松堂の担当者の方からそれぞれの電子ブックの特徴と使い方について説明していただいた。また、適宜質問時間を設けた。

効 果

- ・電子ブックを利用したことがない参加者が半数だったことから、電子ブックに親んでもらう契機になったと考えられる。
- ・アンケートの回答では、参加理由が「内容に興味があったため」の人が一番多かったので、本学学生のニーズに合った企画ができたと分かる。
- ・参加者の7割以上の方が、本企画に「非常に満足」「ある程度満足」と回答していたので、電子ブックの利点や使い方を周知できたと思われる。

改 善 点

今回の講座は、KU コアラメンバーの時間の都合により、授業数の少ない水曜日の開催となった。また、5限目という比較的遅い時間帯ということもあり、一般学生が参加しづらい日程となってしまった点を改善すべきだと思う。これを改善するためには、開催日時を先に決めてから主な担当者を決定するという対処法が考えられる。

また、当日になって、タブレットが電子ブックに対応していないことが判明し、「実際に使用して使い方を覚えてもらう」という講座のメリットが失われてしまった。このようなことがないように、事前にリハーサルを行うなどの準備を徹底することが大切であると痛感した。

感 想

今まで私たちの代では行ったことのなかった参加型企画で、書店員の方にご協力いただいて作り上げる企画であったため、何に気を付けてどこに気を配れば成功するのかということや、打合せの段階でどのようなことを聞いておけば当日スムーズに企画を進めることができるのかということなど、手探りのことが多かったように思う。特に、リハーサルをしっかりと行わなかったことが、参加者の方にご迷惑をおかけした原因となったと考えられるので、今後同じミスをしないようにKU コアラメンバー全体に周知していきたい。

アンケートの結果では、7割以上の人に満足だというように回答してもらえたので少し安心したが、どちらともいえないと回答した参加者の方もいたので、より満足度の高い企画を実施できるよう精進していきたい。